

～箱根の地形・地質と自然災害を考える～ 活火山箱根と2019年大涌谷警戒レベル2

2015年に極小規模噴火をし、2019年には再度レベル2に引き上げられました。噴気活動が活発な状態が続く箱根火山ですが、箱根地域にとっても、さらに観光立国と銘打つ日本にとっても、箱根との縁を切ることはできません。これは箱根に限らず多くの観光地が活火山と共存している日本の宿命です。活火山との付き合いは防災(知識や技術)だけでは不十分で、心の問題も大きいと思います。この講座が箱根への思いを考えるきっかけになればと思います。

◆ 講師：笠間友博氏（箱根町立箱根ジオミュージアム）



- ◆ 日程：12月10日（火）13：30～15：30（受付：13:00より）
- ◆ 会場：生涯学習センターけやき4階 第2会議室
- ◆ 費用：1,000円
- ◆ 定員：50名（申込先着順）

講師プロフィール 笠間友博（かさまともひろ）氏



1958年藤沢市生まれ。大磯町在住、前西小磯西区長。早稲田大学理工学研究科工業物理化学修了。神奈川県立全日制および定時制高校教員、神奈川県立青少年センター行政職を経て、2004年より生命の星・地球博物館所属研究職。2019年生命の星・地球博物館を定年退職し、箱根町立箱根ジオミュージアム勤務。日本地質学会理事・関東支部幹事長、日本火山学会事業委員。県内に分布する箱根火山等の火山灰資料の収集、研究を行う。画像資料は博物館HP電子百科で公開している。県内および静岡県東部の小学校等への火山教育出張授業にも取り組む。

【申込】

- ◇ 申込先・問合先 NPO法人小田原市生涯学習推進員の会（生涯学習センターけやき内）
- ◇ 電話受付：0465-33-1890（平日9時～16時、毎月第4月曜日除く）
又は、キャンパスおだわらホームページから <http://www.campusodawara.jp/kouza/>